

No.	個別事業番号	意見・質問概要
1		事業評価集計（重点施策）の中で、情報の提供と相談、助言等が多く含まれています。情報提供は行政の大切な役割の一つですが、これらがあまりに多岐にわたる（細分化されている）ため、市民が見たとき少しわかりづらいところがあると感じます。市のホームページを見ても、『流山市子育て相談』で検索すると窓口がいくつもヒットします。そこで、「子ども、子育て」については、子ども家庭課と保健センターをすべての中心に置き、来所、電話、オンラインをここで『交通整理』して適切な相談窓口につなぐ仕組みはできませんでしょうか（例えば令和元年10月11日付市広報1面のような周知方法で）。それぞれの部署においても専門性を要するところですが、市民から見るとどれも市役所の一部分です。受け口を絞り対応されることも行政サービスの向上に繋がるものと考えます。勿論、部署間の調整・連携は必須ですが・・・。
2	15学童クラブ施設 113学童クラブの活用	N0. 15に言う施設の充実（量の課題）と同時に、N0. 113に言う職員の研修（質の課題）にも同様に注意を払っていただきたい。 わたくしも2、3の学童施設を承知しておりますが、職員の質については他の分野（保育園、児童館等）と比べても課題が多いと思います（職員の質のばらつきが大きい）。勿論、不定期な勤務の中、そこで働く職員を集めること自体が困難であることは承知していますが、研修受講者への特典、その他時給の底上げなど市が支援できることもあろうかと思えます。
3	52相談・カウンセリング 61特別支援教育	合理的配慮について、幼稚園・保育園でも学ぶ機会を持つ事を提案したいと思います。また幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校、大学、就職と切れ目ない支援が必要だと思えますが、現在の制度では、それぞれの繋がりがありません。ネットワークを作り、情報交換をする事が大切だと思えます。 手帳をもらえない発達グレーの子ども達に対する支援も検討が必要です。
4	119児童虐待防止のための連携強化	第三の場所として、子ども食堂も活用する事も検討をお願いします。
5	20ファミリー・サポート・センター	改善策のところに、「会則を一部変更して利用開始可能月齢を柔軟にします」など加えられたらうれしいです。また6番にも関わりますが、最近とても精神疾患の親の援助が増えているので、子ども家庭課に相談するのか、健康増進課に相談するのか迷うことがあります。電話をしてもうまく伝わっているのか不安です。必要に応じてケース会議をするなどお願いしたいです。
6	34妊娠・出産・子育てサポート事業	①主な成果目標で、育てにくさを感じた時に対処できる親の割合は、どのようにして出しているのでしょうか？ ②産後ケアについては、料金などが近隣市に比べて料金が高いなど利用しにくい声もあります。それは今後どのようにお考えでしょうか？
7	35母子健康教育	色々な講座がありますが、離乳食教室はまん延防止期間など中止になっていました。オンラインでの開催などももう少しできたことがあるのではないかと思います。 困っているという声をたくさん聞きました。
8	41養育支援事業・産褥期ヘルパーの情報提供	今年度から産後の家事支援で12時間の利用補助ができたのは良いことと思います。ただすぐに使い切ってしまうので、さらなる支援があるといいと思います。
9	50子どもの権利条約・児童憲章の周知・啓発	子どもの権利は、いじめのことだけではありません。 基本的な子どもの権利条約のことを、職員はどの程度理解しているのでしょうか。特に中学校の先生から生徒への行き過ぎた指導に問題がないかは（言葉遣いなども含め）確認する必要があると思えます。 ぜひ、チラシ配布だけではなく、直接いじめ以外のこと（基本的な4つの柱だけでも）授業でお話する機会があればと思います。
-	119児童虐待防止のための連携強化	民生委員、主任児童委員との連携について、もっと明確にしていきたいです。責任と権限についての表記も必要だと思います。
-	-	アンケート設計からクロス分析まで、専門家に依頼する事を検討してはいかがでしょうか？自由記述についても、もっと体系的に分析する事で、各課で出来る事出来ない事が明確になると思います。